

【表紙】

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】     | 半期報告書                            |
| 【提出先】      | 中国財務局長                           |
| 【提出日】      | 2020年12月25日                      |
| 【中間会計期間】   | 第131期中（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日） |
| 【会社名】      | 日ノ丸自動車株式会社                       |
| 【英訳名】      | HINOMARU BUS CO.,LTD.            |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 馬場 進                     |
| 【本店の所在の場所】 | 鳥取県鳥取市古海620番地                    |
| 【電話番号】     | 0857（22）5158                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 専務取締役総務部長 秦 哲夫                   |
| 【最寄りの連絡場所】 | 鳥取県鳥取市古海620番地                    |
| 【電話番号】     | 0857（22）5158                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 専務取締役総務部長 秦 哲夫                   |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当なし                             |

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

## (1) 連結経営指標等

| 回次                                                | 第129期中                            | 第130期中                            | 第131期中                            | 第129期                             | 第130期                             |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間                                              | 自2018年<br>4月1日<br>至2018年<br>9月30日 | 自2019年<br>4月1日<br>至2019年<br>9月30日 | 自2020年<br>4月1日<br>至2020年<br>9月30日 | 自2018年<br>4月1日<br>至2019年<br>3月31日 | 自2019年<br>4月1日<br>至2020年<br>3月31日 |
| 売上高 (千円)                                          | 1,310,949                         | 1,341,363                         | 626,247                           | 3,267,040                         | 3,243,312                         |
| 経常利益又は経常損失 ( ) (千円)                               | 214,056                           | 191,081                           | 655,108                           | 160,008                           | 159,384                           |
| 親会社株主に帰属する中間純損失<br>( ) 又は親会社株主に帰属する当<br>期純利益 (千円) | 142,413                           | 124,220                           | 444,959                           | 166,138                           | 145,173                           |
| 中間包括利益又は包括利益 (千円)                                 | 140,692                           | 129,942                           | 448,244                           | 165,470                           | 114,678                           |
| 純資産額 (千円)                                         | 2,490,881                         | 2,646,702                         | 2,422,679                         | 2,797,044                         | 2,891,323                         |
| 総資産額 (千円)                                         | 5,475,488                         | 5,482,834                         | 6,161,180                         | 5,709,597                         | 5,519,639                         |
| 1株当たり純資産額 (円)                                     | 366.22                            | 389.13                            | 356.22                            | 411.24                            | 425.10                            |
| 1株当たり中間純損失金額 ( ) 又<br>は1株当たり当期純利益金額 (円)           | 20.94                             | 18.26                             | 65.43                             | 24.43                             | 21.34                             |
| 潜在株式調整後1株当たり中間 (当<br>期) 純利益金額 (円)                 | -                                 | -                                 | -                                 | -                                 | -                                 |
| 自己資本比率 (%)                                        | 45.5                              | 48.3                              | 39.3                              | 49.0                              | 52.4                              |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)                             | 210,526                           | 271,870                           | 30,361                            | 437,215                           | 455,367                           |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)                             | 210,563                           | 4,250                             | 5,480                             | 210,923                           | 177,851                           |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)                             | 99,275                            | 249,276                           | 808,737                           | 323,303                           | 310,770                           |
| 現金及び現金同等物の中間期末 (期<br>末) 残高 (千円)                   | 182,522                           | 203,166                           | 924,464                           | 184,823                           | 151,568                           |
| 従業員数 (人)                                          | 368                               | 359                               | 355                               | 355                               | 344                               |
| 〔外、平均臨時雇用者数〕                                      | 〔65〕                              | 〔85〕                              | 〔86〕                              | 〔69〕                              | 〔87〕                              |

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれていない。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、1株当たり中間純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

## (2) 提出会社の経営指標等

| 回次                     | 第129期中                            | 第130期中                            | 第131期中                            | 第129期                             | 第130期                             |
|------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間                   | 自2018年<br>4月1日<br>至2018年<br>9月30日 | 自2019年<br>4月1日<br>至2019年<br>9月30日 | 自2020年<br>4月1日<br>至2020年<br>9月30日 | 自2018年<br>4月1日<br>至2019年<br>3月31日 | 自2019年<br>4月1日<br>至2020年<br>3月31日 |
| 売上高 (千円)               | 1,283,117                         | 1,308,535                         | 624,869                           | 3,200,864                         | 3,181,197                         |
| 経常利益又は経常損失 ( ) (千円)    | 214,854                           | 197,305                           | 615,277                           | 155,216                           | 155,922                           |
| 中間純損失 ( ) 又は当期純利益 (千円) | 143,236                           | 130,400                           | 405,342                           | 161,973                           | 142,896                           |
| 資本金 (千円)               | 100,000                           | 100,000                           | 100,000                           | 100,000                           | 100,000                           |
| 発行済株式総数 (千株)           | 6,800                             | 6,800                             | 6,800                             | 6,800                             | 6,800                             |
| 純資産額 (千円)              | 2,406,336                         | 2,552,202                         | 2,369,141                         | 2,713,809                         | 2,800,198                         |
| 総資産額 (千円)              | 5,328,564                         | 5,330,744                         | 5,990,796                         | 5,580,984                         | 5,418,807                         |
| 1株当たり配当額 (円)           | -                                 | -                                 | -                                 | 3.00                              | 3.00                              |
| 自己資本比率 (%)             | 45.2                              | 47.9                              | 39.5                              | 48.6                              | 51.7                              |
| 従業員数 (人)               | 353                               | 345                               | 341                               | 341                               | 330                               |
| 〔外、平均臨時雇用者数〕           | 〔65〕                              | 〔85〕                              | 〔86〕                              | 〔69〕                              | 〔87〕                              |

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれていない。

2. 第129期中、第130期中、及び第131期中の1株当たり配当額については、配当を行っていないため記載していない。

## 2【事業の内容】

当中間連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について重要な変更はない。また、主要な関係会社における異動もない。

なお、当中間連結会計期間より報告セグメントの区分を変更している。詳細は、「第5 経理の状況 1 中間連結財務諸表等 (1)中間連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりである。

## 3【関係会社の状況】

当中間連結会計期間において、重要な関係会社の異動はない。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

2020年9月30日現在

| セグメントの名称 | 従業員数（人）   |
|----------|-----------|
| バス事業     | 220（ 39 ） |
| 航空代理店事業  | 107（ 16 ） |
| 駐車場事業    | -（ - ）    |
| 受託バス事業   | -（ 27 ）   |
| 報告セグメント計 | 327（ 82 ） |
| その他      | 17（ 1 ）   |
| 全社       | 11（ 3 ）   |
| 合計       | 355（ 86 ） |

（注）1.従業員数は就業人員数であり、臨時従業員数は（ ）内に当中間連結会計期間の平均人員を外数で記載している。

2.駐車場事業の運営はすべて外部に委託している。

### (2) 提出会社の状況

2020年9月30日現在

|         |           |
|---------|-----------|
| 従業員数（人） | 341（ 86 ） |
|---------|-----------|

（注）従業員数は就業人員数であり、臨時従業員数は（ ）内に当中間会計期間の平均人員を外数で記載している。

### (3) 労働組合の状況

私鉄中国地方労働組合日ノ丸自動車支部は日本私鉄労働組合総連合会に属し、2020年9月30日現在の組合員数は285名でユニオンショップ制である。また、連結子会社の㈱日ノ丸観光トラベルにおける2020年9月30日現在の組合員数は8名である。なお、労使関係について特に記載すべき事項はない。

## 第2【事業の状況】

### 1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計年度末現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものである。

#### (1)経営方針

当社グループは、バス事業、受託バス事業において、「地域社会の公共交通を守る」を理念におき公共性のある事業を展開し、それに対応したビジネス環境を構築していく。航空事業では、「安心と信頼」を理念におき、社会の発展に貢献していく。

#### (2)経営戦略

当社グループは、顧客獲得に向け質の高いサービスを積極的にPRし、安全輸送および親切丁寧な接客を続けることによる顧客の維持、拡大につなげる。

#### (3)経営環境

当中間連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、ロックダウンや外出自粛要請等によるヒトやモノの移動制限の影響で経済活動の停滞が続いている。また、米中の貿易と投資をめぐる緊張状態の見通しが不確実性を増しており、世界全体で景況感が悪化して経済活動がさらに弱まる先行きが予想されている。バス業界においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による貸切バス、高速バスの輸送人員の減少、人口減少による路線バス収入の減少など市場全体はより厳しさを増している。航空事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外国人来訪者及び国内利用者が激減しており、輸送実績は国内線、国際線ともに厳しい状況となっている。

#### (4)目標とする経営指標

当社グループでは、継続的経営を維持していくため「営業利益」を重要な指標として位置づけ、営業基盤の拡大による企業価値の継続的拡大を目指している。

#### (5)優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当社グループが優先的に対処すべき主な事業上及び財務上の課題は以下のとおりである。

##### バス事業における輸送環境対策

当社グループはバス事業における輸送環境への対策が重要課題であり引き続き安全輸送対策の推進や地域環境への対応等積極的に取り組んでいく。

##### 内部管理体制の強化

当社グループの継続的な経営のためには、内部管理体制の充実、人材育成が重要課題であり今後も一層の充実を図っていく。

##### 輸送コストの削減と内部留保拡大

当社グループは財務体質の強化が重要課題であり、バス事業における輸送コストの削減と有利子負債の圧縮による財務体質の強化及び内部留保拡大に努める。

##### ウイルス感染症流行及び自然災害等の発生の対策

当社グループはウイルス感染症流行及び自然災害等の発生が、企業活動を著しく停滞させる脅威になりうることを踏まえ、損害や損失の発生を最小限に抑える対策を講じておくことは企業責務であると認識している。

### 2【事業等のリスク】

当中間連結会計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はない。

### 3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)経営成績等の状況の概要

当中間連結会計期間における当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下「経営成績等」という。）の状況の概要は以下のとおりである。

##### 財政状態及び経営成績の状況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、ロックダウンや外出自粛要請等によるヒトやモノの移動制限の影響で経済活動の停滞が続いている。また、米中の貿易と投資をめぐる緊張状態の見通しが不確実性を増しており、世界全体で景況感が悪化して経済活動がさらに弱まる先行きが予想されている。

このような情勢の中、当社グループは、引き続き安全輸送対策の推進や地球環境への対応等に積極的に取り組みながら、経営の効率化や改善に努めたが、売上高は626,247千円と前中間連結会計期間に比べ715,116千円減少となった。費用面においては、原油値下げによる燃料費減少等があったものの、経常損失は655,108千円と前中間連結会計期間に比べ464,026千円増加となり、親会社株主に帰属する中間純損失は444,959千円と前中間連結会計期間に比べ320,738千円増加となった。

セグメントの経営成績は次のとおりである。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較している。

##### バス事業

当事業は、売上高は貸切バスの売上減等により318,058千円（前年同期比62.2%減）となり、営業損失は609,307千円（前年同期比116.3%増）となった。

##### 航空代理店事業

当事業は、売上高は国内定期便減便での代理店収入の減少等により181,418千円（前年同期比46.5%減）となり、営業損失は40,182千円（前年同期は96,448千円の利益）となった。

##### 駐車場事業

当事業は長期賃貸契約が主であり、売上高は43,892千円（前年同期比0.1%減）となり、営業利益は26,271千円（前年同期比5.2%増）となった。

##### 受託バス事業

当事業は市町村との自家用有償運送契約が主であり、売上高は65,058千円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益は18,254千円（前年同期比49.1%増）となった。

##### その他

その他には、旅行斡旋、受注整備及び物品等販売事業が含まれており、売上高は旅行斡旋の減少等により17,818千円（前年同期比66.4%減）となり、営業損失は22,298千円（前年同期は13,726千円の利益）となった。

##### キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同期に比べ721,297千円（355.0%）増加し、924,464千円となった。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は当中間連結会計期間では30,361千円（前年同期は271,870千円の獲得）であったが、これは中間純損失の増加が主な要因である。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は当中間連結会計期間では5,480千円（前年同期比28.9%増）であったが、これはその他の増減額の減少が主な要因である。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は当中間連結会計期間では808,737千円（前年同期は249,276千円の使用）であったが、これは長期借入による収入の増加が主な要因である。

## 生産、受注及び販売の実績

(イ)当社グループは、主に一般顧客を対象にバス事業及び航空代理店事業等を行っており、生産及び受注の実績について該当事項はない。

## (ロ)販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりである。

| セグメントの名称     | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) | 前年同期比(%) |
|--------------|--------------------------------------------|----------|
| バス事業(千円)     | 318,058                                    | 62.2     |
| 航空代理店事業(千円)  | 181,418                                    | 46.5     |
| 駐車場事業(千円)    | 43,892                                     | 0.1      |
| 受託バス事業(千円)   | 65,058                                     | 3.4      |
| 報告セグメント計(千円) | 608,429                                    | 52.8     |
| その他(千円)      | 17,818                                     | 66.4     |
| 合計(千円)       | 626,247                                    | 53.3     |

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去している。

2. 前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりである。

| 相手先       | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) |       | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |       |
|-----------|--------------------------------------------|-------|--------------------------------------------|-------|
|           | 金額(千円)                                     | 割合(%) | 金額(千円)                                     | 割合(%) |
| 全日本空輸株式会社 | 327,199                                    | 24.4  | 180,317                                    | 28.8  |

3. 上記金額には、消費税等は含まれていない。

## (2)経営者の視点による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析・検討内容

経営者の視点による当社グループの経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は以下のとおりである。

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間末現在において判断したものである。

## 重要な会計方針及び見積り

当社グループの中間連結財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて作成されている。この中間連結財務諸表の作成にあたっては、当中間連結会計期間における経営成績等の状況に影響を与えるような見積り、予測を必要としている。当社グループは、過去の実績値や状況を踏まえ合理的と判断される前提に基づき、継続的に見積り、予測を行っている。そのため実際の結果は、見積り特有の不確実性があるため、これらの見積りと異なる場合がある。

なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期などを想定することは困難であるものの、社会情勢や政府・自治体の取り組みなどを参考にした上で、新型コロナウイルス感染症の収束時期を仮定して当中間連結会計期間の会計上の見積りを行っている。

当中間連結会計期間の経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

(イ)財政状態の分析

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（5,519,639千円）に比べ641,540千円（11.6%）増加し、6,161,180千円となった。

流動資産は、前連結会計年度末（785,597千円）に比べ363,131千円（46.2%）増加し、1,148,728千円となった。この増加の主な要因は、現金及び預金の増加によるものである。

固定資産は、前連結会計年度末（4,734,042千円）に比べ278,408千円（5.9%）増加し、5,012,451千円となった。この増加の主な要因は、繰延税金資産の増加によるものである。

流動負債は、前連結会計年度末（1,189,424千円）に比べ117,394千円（9.9%）減少し、1,072,029千円となった。この減少の主な要因は、短期借入金の減少によるものである。

固定負債は、前連結会計年度末（1,438,891千円）に比べ1,227,579千円（85.3%）増加し、2,666,471千円となった。この増加の主な要因は、長期借入金の増加によるものである。

純資産は、前連結会計年度末（2,891,323千円）に比べ468,644千円（16.2%）減少し、2,422,679千円となった。この減少の主な要因は、利益剰余金の減少によるものである。

(ロ)経営成績の分析

当社グループの当中間連結会計期間における売上高は626,247千円（前年同期比53.3%減）、営業損失は、711,593千円（前年同期比234.2%増）、経常損失は、655,108千円（前年同期比242.8%増）、親会社株主に帰属する中間純損失は、444,959千円（前年同期比258.2%増）となった。

各項目の分析については次のとおりである。なお、セグメント別の売上高については、「(1) 経営成績等の状況の概要 財政状態及び経営成績の状況」に記載している。

売上高

当中間連結会計期間における売上高は、前中間連結会計期間（1,341,363千円）に比べて715,116千円（53.3%）減少し、626,247千円となった。この減少の主な要因はバス事業における貸切バス収入の減少によるものである。

売上原価

当中間連結会計期間における売上原価は、前中間連結会計期間（1,435,939千円）に比べて215,519千円（15.0%）減少し、1,220,419千円となった。この減少の主な要因はバス事業における燃料費の減少によるものである。

営業損失

当中間連結会計期間における営業損失は、前中間連結会計期間（212,929千円）に比べて498,664千円（234.2%）増加し、711,593千円となった。

経常損失

当中間連結会計期間における営業外収益は、前中間連結会計期間（23,813千円）に比べて60,582千円（254.4%）増加し84,395千円となり、営業外費用は、前中間連結会計期間（1,965千円）に比べて25,944千円（1,319.9%）増加し27,910千円となった。この結果、経常損失は前中間連結会計期間（191,081千円）に比べて464,026千円（242.8%）増加し655,108千円となった。

親会社株主に帰属する中間純損失

当中間連結会計期間における特別利益は計上がなく（前中間連結会計期間は289千円）、特別損失は前中間連結会計期間（0千円）に比べ0千円増加し0千円となった。この結果、親会社株主に帰属する中間純損失は前中間連結会計期間（124,220千円）に比べ320,738千円（258.2%）増加し444,959千円となった。

(ハ)キャッシュ・フローの分析

キャッシュ・フローの状況については、「(1) 経営成績等の状況の概要      キャッシュ・フローの状況」に記載のとおりである。

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、次のとおりである。

当社グループの運転資金需要のうち主なものは、販売費及び一般管理費等の営業費用である。投資を目的とした資金需要は、設備投資によるものである。

当社グループは、事業運営上必要な資金の流動性と資金の源泉を安定的に確保することを基本方針としている。

短期運転資金は自己資金及び金融機関からの短期借入を基本としており、設備投資や長期運転資金の調達については、金融機関からの長期借入を基本としている。

なお、当中間連結会計期間末における借入金、社債、リース債務及び割賦未払金を含む有利子負債の残高は2,316,665千円となっている。また、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は924,464千円となっている。

4【経営上の重要な契約等】

当中間連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

5【研究開発活動】

当中間連結会計期間において、記載すべき研究開発活動はない。

### 第3【設備の状況】

#### 1【主要な設備の状況】

当社は、上期において、バス事業における乗合バス7両、貸切バス2両を更新した。バス事業の投資額は256,869千円であり、その他の事業と合わせ総額256,969千円の投資を行った。

なお、重要な設備の除却又は売却はない。

#### 2【設備の新設、除却等の計画】

当中間連結会計期間において、前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の除却等について、重要な変更はない。

## 第4【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 10,000,000  |
| 計    | 10,000,000  |

## 【発行済株式】

| 種類   | 中間会計期間末現在発行<br>数(株)<br>(2020年9月30日) | 提出日現在発行数(株)<br>(2020年12月25日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容                        |
|------|-------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 普通株式 | 6,800,000                           | 6,800,000                    | 非上場・非登録                            | 当社は単元株<br>制度を採用し<br>ていない。 |
| 計    | 6,800,000                           | 6,800,000                    | —                                  | —                         |

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はない。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はない。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の状況】

| 年月日                      | 発行済株式総<br>数増減数<br>(株) | 発行済株式総<br>数残高(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金増<br>減額(千円) | 資本準備金残<br>高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2020年4月1日～<br>2020年9月30日 | -                     | 6,800,000        | -              | 100,000       | -                | -               |

## ( 5 ) 【大株主の状況】

( 2020年 9 月30日現在 )

| 氏名又は名称       | 住所              | 所有株式数<br>( 千株 ) | 発行済株式 ( 自己<br>株式を除く。 ) の<br>総数に対する所有<br>株式数の割合<br>( % ) |
|--------------|-----------------|-----------------|---------------------------------------------------------|
| ( 株 ) 日ノ丸総本社 | 鳥取県鳥取市古海601 - 4 | 492             | 7.24                                                    |
| 運輸厚生会        | 鳥取県鳥取市古海602     | 396             | 5.83                                                    |
| 日ノ丸共済会       | 鳥取県鳥取市古海602     | 200             | 2.94                                                    |
| 国府町宇倍野財産区    | 鳥取県鳥取市国府町宮下1221 | 185             | 2.72                                                    |
| 日本交通 ( 株 )   | 鳥取県鳥取市雲山219     | 140             | 2.06                                                    |
| 鳥取自動車 ( 株 )  | 鳥取県鳥取市雲山219     | 84              | 1.24                                                    |
| 馬場 進         | 鳥取県鳥取市          | 75              | 1.10                                                    |
| 秦 哲夫         | 鳥取県倉吉市          | 75              | 1.10                                                    |
| ( 財 ) 日ノ丸報恩会 | 鳥取県鳥取市古海601 - 4 | 75              | 1.10                                                    |
| 真山 得治        | 鳥取県東伯郡琴浦町       | 75              | 1.10                                                    |
| 計            | —               | 1,799           | 26.47                                                   |

## ( 6 ) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

( 2020年 9 月30日現在 )

| 区分                | 株式数 ( 株 )     | 議決権の数 ( 個 ) | 内容 |
|-------------------|---------------|-------------|----|
| 無議決権株式            | -             | -           | -  |
| 議決権制限株式 ( 自己株式等 ) | -             | -           | -  |
| 議決権制限株式 ( その他 )   | -             | -           | -  |
| 完全議決権株式 ( 自己株式等 ) | -             | -           | -  |
| 完全議決権株式 ( その他 )   | 普通株式6,800,000 | 6,800,000   | -  |
| 単元未満株式            | -             | -           | -  |
| 発行済株式総数           | 6,800,000     | -           | -  |
| 総株主の議決権           | -             | 6,800,000   | -  |

## 【自己株式等】

該当事項はない。

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はない。

## 第5【経理の状況】

### 1．中間連結財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の中間連結財務諸表は、「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成11年大蔵省令第24号)に基づいて作成している。
- (2) 当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)に基づいて作成している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の中間連結財務諸表及び中間会計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により中間監査を受けている。

## 1 【中間連結財務諸表等】

## ( 1 ) 【中間連結財務諸表】

## 【中間連結貸借対照表】

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2020年 3 月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年 9 月30日) |
|---------------|---------------------------|-----------------------------|
| 資産の部          |                           |                             |
| 流動資産          |                           |                             |
| 現金及び預金        | 2 189,628                 | 2 959,924                   |
| 受取手形及び売掛金     | 552,843                   | 121,900                     |
| たな卸資産         | 15,098                    | 12,873                      |
| その他           | 28,837                    | 54,541                      |
| 貸倒引当金         | 810                       | 510                         |
| 流動資産合計        | 785,597                   | 1,148,728                   |
| 固定資産          |                           |                             |
| 有形固定資産        |                           |                             |
| 建物及び構築物（純額）   | 2 400,459                 | 2 384,408                   |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3 256,975                 | 3 341,816                   |
| 土地            | 2 2,866,468               | 2 2,866,468                 |
| リース資産（純額）     | 221,862                   | 246,589                     |
| その他（純額）       | 3 33,333                  | 3 26,884                    |
| 有形固定資産合計      | 1 3,779,099               | 1 3,866,166                 |
| 無形固定資産        | 9,853                     | 9,390                       |
| 投資その他の資産      |                           |                             |
| 投資有価証券        | 2 416,833                 | 2 390,364                   |
| 長期貸付金         | 192,736                   | 192,736                     |
| 退職給付に係る資産     | 156,563                   | 158,619                     |
| 繰延税金資産        | 35,481                    | 247,418                     |
| その他           | 144,094                   | 148,406                     |
| 貸倒引当金         | 619                       | 649                         |
| 投資その他の資産合計    | 945,090                   | 1,136,894                   |
| 固定資産合計        | 4,734,042                 | 5,012,451                   |
| 資産合計          | 5,519,639                 | 6,161,180                   |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2020年 3 月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年 9 月30日) |
|---------------|---------------------------|-----------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                           |                             |
| 流動負債          |                           |                             |
| 支払手形及び買掛金     | 161,015                   | 115,728                     |
| 短期借入金         | 2 158,681                 | 2 16,703                    |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2 187,872                 | 2 163,992                   |
| 前受収益          | 24,143                    | 241,581                     |
| リース債務         | 100,787                   | 115,506                     |
| 未払法人税等        | 70,184                    | 400                         |
| 未払金           | 218,534                   | 204,223                     |
| 賞与引当金         | 89,065                    | 88,373                      |
| その他           | 179,140                   | 125,521                     |
| 流動負債合計        | 1,189,424                 | 1,072,029                   |
| 固定負債          |                           |                             |
| 社債            | 120,000                   | 320,000                     |
| 長期借入金         | 2 130,144                 | 2 1,085,006                 |
| 長期末払金         | 249,692                   | 322,360                     |
| リース債務         | 138,823                   | 152,266                     |
| 再評価に係る繰延税金負債  | 529,236                   | 529,236                     |
| 退職給付に係る負債     | 145,319                   | 135,432                     |
| 役員退職慰労引当金     | 33,408                    | 34,926                      |
| その他           | 92,267                    | 87,243                      |
| 固定負債合計        | 1,438,891                 | 2,666,471                   |
| 負債合計          | 2,628,316                 | 3,738,501                   |
| 純資産の部         |                           |                             |
| 株主資本          |                           |                             |
| 資本金           | 100,000                   | 100,000                     |
| 利益剰余金         | 1,776,247                 | 1,310,888                   |
| 株主資本合計        | 1,876,247                 | 1,410,888                   |
| その他の包括利益累計額   |                           |                             |
| その他有価証券評価差額金  | 3,902                     | 1,411                       |
| 土地再評価差額金      | 1,015,077                 | 1,015,077                   |
| 退職給付に係る調整累計額  | 4,487                     | 2,243                       |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,014,493                 | 1,011,422                   |
| 非支配株主持分       | 582                       | 368                         |
| 純資産合計         | 2,891,323                 | 2,422,679                   |
| 負債純資産合計       | 5,519,639                 | 6,161,180                   |

## 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

## 【中間連結損益計算書】

(単位：千円)

|                                         | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 売上高                                     | 2, 4 1,341,363                             | 2, 4 626,247                               |
| 売上原価                                    | 1,435,939                                  | 1,220,419                                  |
| 売上総損失( )                                | 94,576                                     | 594,172                                    |
| 販売費及び一般管理費                              | 1 118,353                                  | 1 117,421                                  |
| 営業損失( )                                 | 212,929                                    | 711,593                                    |
| 営業外収益                                   |                                            |                                            |
| 受取利息                                    | 968                                        | 969                                        |
| 受取配当金                                   | 5,023                                      | 1,468                                      |
| 持分法による投資利益                              | 1,869                                      | -                                          |
| 受取地代家賃                                  | 4,778                                      | 4,846                                      |
| スクラップ売却益                                | 925                                        | 1,601                                      |
| 受取保険金                                   | 436                                        | 1,291                                      |
| 業務受託料                                   | 3,101                                      | 3,320                                      |
| 保険解約返戻金                                 | 2,828                                      | -                                          |
| 雇用調整助成金                                 | -                                          | 54,279                                     |
| 高速バス精算余剰金                               | -                                          | 10,693                                     |
| その他                                     | 3,879                                      | 5,923                                      |
| 営業外収益合計                                 | 23,813                                     | 84,395                                     |
| 営業外費用                                   |                                            |                                            |
| 支払利息                                    | 1,660                                      | 3,232                                      |
| 貸倒引当金繰入額                                | 30                                         | 30                                         |
| 持分法による投資損失                              | -                                          | 18,383                                     |
| 社債発行費                                   | -                                          | 4,817                                      |
| その他                                     | 274                                        | 1,446                                      |
| 営業外費用合計                                 | 1,965                                      | 27,910                                     |
| 経常損失( )                                 | 191,081                                    | 655,108                                    |
| 特別利益                                    |                                            |                                            |
| 固定資産売却益                                 | 289                                        | -                                          |
| 特別利益合計                                  | 289                                        | -                                          |
| 特別損失                                    |                                            |                                            |
| 固定資産除却損                                 | 3 0                                        | 3 0                                        |
| 特別損失合計                                  | 0                                          | 0                                          |
| 税金等調整前中間純損失( )                          | 190,791                                    | 655,108                                    |
| 法人税、住民税及び事業税                            | 400                                        | 400                                        |
| 法人税等調整額                                 | 67,015                                     | 210,335                                    |
| 法人税等合計                                  | 66,615                                     | 209,935                                    |
| 中間純損失( )                                | 124,176                                    | 445,173                                    |
| 非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に<br>帰属する中間純損失( ) | 43                                         | 214                                        |
| 親会社株主に帰属する中間純損失( )                      | 124,220                                    | 444,959                                    |

## 【中間連結包括利益計算書】

(単位：千円)

|                | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|----------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 中間純損失( )       | 124,176                                    | 445,173                                    |
| その他の包括利益       |                                            |                                            |
| その他有価証券評価差額金   | 10,806                                     | 5,314                                      |
| 退職給付に係る調整額     | 5,041                                      | 2,243                                      |
| その他の包括利益合計     | 5,765                                      | 3,070                                      |
| 中間包括利益         | 129,942                                    | 448,244                                    |
| (内訳)           |                                            |                                            |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 129,985                                    | 448,029                                    |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 43                                         | 214                                        |

## 【中間連結株主資本等変動計算書】

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：千円)

|                               | 株主資本    |           |           | その他の包括利益累計額      |              |                  |                       | 非支配株主<br>持分 | 純資産合計     |
|-------------------------------|---------|-----------|-----------|------------------|--------------|------------------|-----------------------|-------------|-----------|
|                               | 資本金     | 利益剰余金     | 株主資本合計    | その他有価証券<br>評価差額金 | 土地再評価<br>差額金 | 退職給付に係<br>る調整累計額 | その他の包<br>括利益累計<br>額合計 |             |           |
| 当期首残高                         | 100,000 | 1,651,473 | 1,751,473 | 40,010           | 1,015,077    | 10,082           | 1,045,005             | 565         | 2,797,044 |
| 当中間期変動額                       |         |           |           |                  |              |                  |                       |             |           |
| 剰余金の配当                        |         | 20,400    | 20,400    |                  |              |                  |                       |             | 20,400    |
| 親会社株主に帰属<br>する中間純損失<br>( )    |         | 124,220   | 124,220   |                  |              |                  |                       |             | 124,220   |
| 株主資本以外の項<br>目の当中間期変動<br>額（純額） |         |           |           | 10,806           |              | 5,041            | 5,765                 | 43          | 5,721     |
| 当中間期変動額合計                     | -       | 144,620   | 144,620   | 10,806           | -            | 5,041            | 5,765                 | 43          | 150,342   |
| 当中間期末残高                       | 100,000 | 1,506,853 | 1,606,853 | 29,203           | 1,015,077    | 5,041            | 1,039,239             | 609         | 2,646,702 |

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

|                               | 株主資本    |           |           | その他の包括利益累計額      |              |                  |                       | 非支配株主<br>持分 | 純資産合計     |
|-------------------------------|---------|-----------|-----------|------------------|--------------|------------------|-----------------------|-------------|-----------|
|                               | 資本金     | 利益剰余金     | 株主資本合計    | その他有価証券<br>評価差額金 | 土地再評価<br>差額金 | 退職給付に係<br>る調整累計額 | その他の包<br>括利益累計<br>額合計 |             |           |
| 当期首残高                         | 100,000 | 1,776,247 | 1,876,247 | 3,902            | 1,015,077    | 4,487            | 1,014,493             | 582         | 2,891,323 |
| 当中間期変動額                       |         |           |           |                  |              |                  |                       |             |           |
| 剰余金の配当                        |         | 20,400    | 20,400    |                  |              |                  |                       |             | 20,400    |
| 親会社株主に帰属<br>する中間純損失<br>( )    |         | 444,959   | 444,959   |                  |              |                  |                       |             | 444,959   |
| 株主資本以外の項<br>目の当中間期変動<br>額（純額） |         |           |           | 5,314            |              | 2,243            | 3,070                 | 214         | 3,285     |
| 当中間期変動額合計                     | -       | 465,359   | 465,359   | 5,314            | -            | 2,243            | 3,070                 | 214         | 468,644   |
| 当中間期末残高                       | 100,000 | 1,310,888 | 1,410,888 | 1,411            | 1,015,077    | 2,243            | 1,011,422             | 368         | 2,422,679 |

## 【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

|                         | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|-------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |                                            |                                            |
| 税金等調整前中間純損失( )          | 190,791                                    | 655,108                                    |
| 減価償却費                   | 159,889                                    | 170,364                                    |
| 固定資産売却損益( は益)           | 289                                        | -                                          |
| 固定資産除却損                 | 0                                          | 0                                          |
| 貸倒引当金の増減額( は減少)         | 153                                        | 269                                        |
| 賞与引当金の増減額( は減少)         | 283                                        | 692                                        |
| 退職給付に係る資産の増減額( は増加)     | 1,107                                      | 3,955                                      |
| 退職給付に係る負債の増減額( は減少)     | 1,521                                      | 12,484                                     |
| 役員退職慰労引当金の増減額( は減少)     | 9,742                                      | 1,518                                      |
| 受取利息及び受取配当金             | 5,991                                      | 2,438                                      |
| 支払利息                    | 1,660                                      | 3,232                                      |
| 持分法による投資損益( は益)         | 1,869                                      | 18,383                                     |
| 売上債権の増減額( は増加)          | 347,282                                    | 430,942                                    |
| たな卸資産の増減額( は増加)         | 19,949                                     | 2,225                                      |
| 仕入債務の増減額( は減少)          | 30,010                                     | 45,287                                     |
| 未払金の増減額( は減少)           | 22,001                                     | 28,201                                     |
| 前受収益の増減額( は減少)          | 20,151                                     | 217,438                                    |
| 未払消費税等の増減額( は減少)        | 12,868                                     | 2,229                                      |
| 助成金収入                   | -                                          | 54,279                                     |
| その他の資産・負債の増減額           | 10,367                                     | 60,313                                     |
| 小計                      | 354,885                                    | 13,243                                     |
| 利息及び配当金の受取額             | 5,991                                      | 2,438                                      |
| 助成金の受取額                 | -                                          | 54,279                                     |
| 利息の支払額                  | 1,992                                      | 3,651                                      |
| 法人税等の支払額                | 87,014                                     | 70,184                                     |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 271,870                                    | 30,361                                     |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |                                            |                                            |
| 定期預金の預入による支出            | 11,400                                     | 4,200                                      |
| 定期預金の払戻による収入            | 6,000                                      | 6,800                                      |
| 有形固定資産の取得による支出          | 7,403                                      | 8,080                                      |
| 有形固定資産の売却による収入          | 324                                        | -                                          |
| 保険積立金の解約による収入           | 8,229                                      | -                                          |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | 4,250                                      | 5,480                                      |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |                                            |                                            |
| 短期借入金の純増減額( は減少)        | 80,500                                     | 141,978                                    |
| 長期借入れによる収入              | 140,000                                    | 1,100,000                                  |
| 長期借入金の返済による支出           | 131,951                                    | 169,018                                    |
| 社債の発行による収入              | -                                          | 200,000                                    |
| 割賦債務の返済による支出            | 89,973                                     | 99,245                                     |
| リース債務の返済による支出           | 66,558                                     | 60,832                                     |
| 配当金の支払額                 | 19,505                                     | 19,513                                     |
| その他                     | 787                                        | 674                                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 249,276                                    | 808,737                                    |
| 現金及び現金同等物の増減額( は減少)     | 18,343                                     | 772,895                                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 184,823                                    | 151,568                                    |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高        | 203,166                                    | 924,464                                    |

【注記事項】

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 1社

連結子会社の名称

㈱日ノ丸観光トラベル

(2) 非連結子会社の名称等

非連結子会社

㈱日ノ丸アネックス

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社1社は、小規模であり、全体として中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため連結の範囲から除外している。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社数 1社

非連結子会社の名称

㈱日ノ丸アネックス

(2) 持分法適用の関連会社数 1社

関連会社の名称

鳥取バスターミナル㈱

(3) 持分法適用会社のうち中間決算日が中間連結決算日と異なる会社(1社)については、中間連結会計期間に係るその会社の仮決算に基づく中間財務諸表を使用している。

3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

連結子会社の中間決算日と中間連結決算日は一致している。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

中間連結決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

たな卸資産

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法。ただし、駐車場事業設備及び1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物及び構築物 10～50年

機械装置及び運搬具 2～17年

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上している。

賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当中間連結会計期間の負担額を計上している。

役員退職慰労引当金

当社は役員の退職慰労金の支払に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当中間連結会計期間未要支給額を計上している。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっている。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、発生年度に一括損益処理している。

数理計算上の差異については、発生年度の翌連結会計年度に一括損益処理している。

(5) 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引出可能な預金からなる。

(6) その他中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

(表示方法の変更)

(中間連結貸借対照表)

前連結会計年度において「流動負債」の「その他」に含めていた「前受収益」は重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとした。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っている。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」の「その他」に表示していた203,283千円は、「前受収益」24,143千円、「その他」179,140千円として組み替えている。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計期間において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の資産・負債の増減額」に含めていた「前受収益の増減額」は重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することとした。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の連結財務諸表の組み替えを行っている。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の資産・負債の増減額」に表示していた9,783千円は、「前受収益の増減額」20,151千円、「その他の資産・負債の増減額」10,367千円として組み替えている。

## (中間連結貸借対照表関係)

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

| 前連結会計年度<br>(2020年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年9月30日) |
|-------------------------|---------------------------|
| 4,148,192千円             | 4,150,332千円               |

## 2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりである。

|              | 前連結会計年度<br>(2020年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年9月30日) |
|--------------|-------------------------|---------------------------|
| 現金及び預金(定期預金) | 10,158千円                | 10,158千円                  |
| 建物及び構築物      | 392,734                 | 377,051                   |
| 土地           | 2,829,904               | 2,663,447                 |
| 投資有価証券       | 98,445                  | 90,648                    |
| 計            | 3,331,243               | 3,141,306                 |

なお、上記担保資産のうち、前連結会計年度は建物及び構築物168,463千円、当中間連結会計期間は建物及び構築物165,095千円を株式会社日ノ丸総本社の銀行借入金に対する物上保証に供している。

担保付債務は、次のとおりである。

|                   | 前連結会計年度<br>(2020年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年9月30日) |
|-------------------|-------------------------|---------------------------|
| 短期借入金             | 158,681千円               | 16,703千円                  |
| 長期借入金(1年以内返済額を含む) | 314,776                 | 558,278                   |
| 計                 | 473,457                 | 574,981                   |

## 3 国庫補助金等の受入により取得価額から直接控除している圧縮記帳額

|           | 前連結会計年度<br>(2020年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年9月30日) |
|-----------|-------------------------|---------------------------|
| 機械装置及び運搬具 | 916,241千円               | 859,146千円                 |
| その他       | 1,505                   | 1,505                     |

(中間連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

|              | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|--------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 役員報酬         | 23,122千円                                   | 22,506千円                                   |
| 給与・手当及び賞与    | 41,684                                     | 39,762                                     |
| 賞与引当金繰入額     | 3,311                                      | 3,275                                      |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 2,048                                      | 1,518                                      |
| 退職給付費用       | 972                                        | 947                                        |

2 売上高の中には運行費補助金等が含まれている。

|  | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|--|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
|  | 14,784千円                                   | 19,000千円                                   |

3 固定資産除却損の内容は次のとおりである。

|           | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|-----------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 機械装置及び運搬具 | 0千円                                        | 0千円                                        |
| その他       | -                                          | 0                                          |

4 当社グループの売上高は、通常の営業形態によるものの他、売上に計上している運行費補助金等が下期において確定するため、連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違がある。

(中間連結株主資本等変動計算書関係)

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 当連結会計年度期<br>首株式数(株) | 当中間連結会計期間<br>増加株式数(株) | 当中間連結会計期間<br>減少株式数(株) | 当中間連結会計期間<br>末株式数(株) |
|-------|---------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 発行済株式 |                     |                       |                       |                      |
| 普通株式  | 6,800,000           | -                     | -                     | 6,800,000            |
| 合計    | 6,800,000           | -                     | -                     | 6,800,000            |
| 自己株式  |                     |                       |                       |                      |
| 普通株式  | -                   | -                     | -                     | -                    |
| 合計    | -                   | -                     | -                     | -                    |

## 2. 配当に関する事項

## 配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2019年6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 20,400         | 3               | 2019年3月31日 | 2019年6月27日 |

当中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 当連結会計年度期<br>首株式数(株) | 当中間連結会計期間<br>増加株式数(株) | 当中間連結会計期間<br>減少株式数(株) | 当中間連結会計期間<br>末株式数(株) |
|-------|---------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 発行済株式 |                     |                       |                       |                      |
| 普通株式  | 6,800,000           | -                     | -                     | 6,800,000            |
| 合計    | 6,800,000           | -                     | -                     | 6,800,000            |
| 自己株式  |                     |                       |                       |                      |
| 普通株式  | -                   | -                     | -                     | -                    |
| 合計    | -                   | -                     | -                     | -                    |

## 2. 配当に関する事項

## 配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(千円) | 1株当たり配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|
| 2020年6月26日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 20,400         | 3               | 2020年3月31日 | 2020年6月29日 |

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりである。

|                  | 前中間連結会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間連結会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 現金及び預金勘定         | 242,824千円                                  | 959,924千円                                  |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 39,658                                     | 35,460                                     |
| 現金及び現金同等物        | 203,166                                    | 924,464                                    |

（リース取引関係）

ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

(1) 有形固定資産

バス事業における機械装置及び運搬具等である。

(2) 無形固定資産

ソフトウェアである。

リース資産の減価償却の方法

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「４．会計方針に関する事項（２）重要な減価償却資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。

(金融商品関係)

金融商品の時価等に関する事項

中間連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。  
なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれていない(注)2.参照)。

前連結会計年度(2020年3月31日)

|              | 連結貸借対照表計上額<br>(千円) | 時価(千円)  | 差額(千円) |
|--------------|--------------------|---------|--------|
| (1)現金及び預金    | 189,628            | 189,628 | -      |
| (2)受取手形及び売掛金 | 552,843            | 552,032 | -      |
| 貸倒引当金        | 810                | -       | -      |
| (3)投資有価証券    | 102,089            | 102,089 | -      |
| 資産計          | 843,751            | 843,751 | -      |
| (1)短期借入金     | 158,681            | 158,681 | -      |
| (2)社債        | 120,000            | 120,000 | -      |
| (3)長期借入金     | 318,016            | 320,075 | 2,059  |
| (4)長期未払金( )  | 376,846            | 367,924 | 8,921  |
| 負債計          | 973,543            | 966,680 | 6,862  |

当中間連結会計期間(2020年9月30日)

|              | 中間連結貸借対照表計上<br>額(千円) | 時価(千円)    | 差額(千円) |
|--------------|----------------------|-----------|--------|
| (1)現金及び預金    | 959,924              | 959,924   | -      |
| (2)受取手形及び売掛金 | 121,900              | 121,389   | -      |
| 貸倒引当金        | 510                  | -         | -      |
| (3)投資有価証券    | 94,004               | 94,004    | -      |
| 資産計          | 1,175,318            | 1,175,318 | -      |
| (1)短期借入金     | 16,703               | 16,703    | -      |
| (2)社債        | 320,000              | 320,000   | -      |
| (3)長期借入金     | 1,248,998            | 1,223,089 | 25,908 |
| (4)長期未払金( )  | 463,192              | 450,641   | 12,550 |
| 負債計          | 2,048,893            | 2,010,433 | 38,459 |

( )割賦販売契約に基づく長期未払金のみを記載している。

(注)1.金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(2)受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額  
によっている。

(3)投資有価証券

投資有価証券の時価について、株式は取引所の価格によっている。また、保有目的ごとの有価証券に関  
する事項については、注記事項「有価証券関係」を参照。

## 負債

### (1)短期借入金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっている。

### (2)社債

社債の時価は、元利金の合計額を当該社債の残存期間を加味した利率で割り引いた現在価値により算定している。

### (3)長期借入金

長期借入金の時価は、元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定している。また、長期借入金には1年以内に返済予定のものも含まれている。

### (4)長期未払金

長期未払金の時価は、元利金の合計額を、同様の新規購入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定している。また、長期未払金には1年以内に返済予定のものも含まれている。

## 2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

| 区分     | 前連結会計年度<br>(2020年3月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2020年9月30日) |
|--------|-------------------------|---------------------------|
| 非上場株式  | 65,390                  | 65,390                    |
| 関係会社株式 | 249,353                 | 230,969                   |

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(3) 投資有価証券」には含めていない。

## 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれている。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがある。

(有価証券関係)

### 1. 満期保有目的の債券

前連結会計年度(2020年3月31日)

該当事項はない。

当中間連結会計期間(2020年9月30日)

該当事項はない。

### 2. その他有価証券

前連結会計年度(2020年3月31日)

|                        | 種類      | 連結貸借対照表計上額(千円) | 取得原価(千円) | 差額(千円) |
|------------------------|---------|----------------|----------|--------|
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの  | (1) 株式  | 102,089        | 96,152   | 5,937  |
|                        | (2) 債券  | -              | -        | -      |
|                        | (3) その他 | -              | -        | -      |
|                        | 小計      | 102,089        | 96,152   | 5,937  |
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | (1) 株式  | -              | -        | -      |
|                        | (2) 債券  | -              | -        | -      |
|                        | (3) その他 | -              | -        | -      |
|                        | 小計      | -              | -        | -      |
| 合計                     |         | 102,089        | 96,152   | 5,937  |

当中間連結会計期間（2020年9月30日）

|                                  | 種類      | 中間連結貸借対照表<br>計上額（千円） | 取得原価（千円） | 差額（千円） |
|----------------------------------|---------|----------------------|----------|--------|
| 中間連結貸借対照表計<br>上額が取得原価を超え<br>るもの  | (1) 株式  | -                    | -        | -      |
|                                  | (2) 債券  | -                    | -        | -      |
|                                  | (3) その他 | -                    | -        | -      |
|                                  | 小計      | -                    | -        | -      |
| 中間連結貸借対照表計<br>上額が取得原価を超え<br>ないもの | (1) 株式  | 94,004               | 96,152   | 2,147  |
|                                  | (2) 債券  | -                    | -        | -      |
|                                  | (3) その他 | -                    | -        | -      |
|                                  | 小計      | 94,004               | 96,152   | 2,147  |
| 合計                               |         | 94,004               | 96,152   | 2,147  |

（注）前連結会計年度において、その他有価証券について減損処理を行っていない。

当中間連結会計期間において、その他有価証券について減損処理を行っていない。

なお、減損処理にあたっては、中間期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合には全て減損処理を行い、30～50%程度下落した場合には、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っている。

（デリバティブ取引関係）

デリバティブ取引を利用していないため、該当事項はない。

（ストック・オプション等関係）

該当事項はない。

（資産除去債務関係）

該当事項はない。

（賃貸等不動産関係）

賃貸等不動産の中間連結貸借対照表計上額及び中間連結決算日における時価に、前連結会計年度の末日に比して著しい変動が認められないため、記載を省略している。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社グループは、事業内容を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「バス事業」、「航空代理店事業」、「駐車場事業」、「受託バス事業」の4つを報告セグメントとしている。

「バス事業」は、高速バスを含む乗合バス及び貸切バスの運行をしている。「航空代理店事業」は鳥取県内2空港において航空機の運行支援業務をはじめとする地上支援業務をしている。「駐車場事業」は7階建立体駐車場を有し賃貸している。「受託バス事業」は、鳥取県内4市町村において自家用有償自動車運送事業をしている。

当中間連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「受託バス事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載している。

なお、前中間連結会計期間の報告セグメント情報は、当中間連結会計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示している。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一である。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値である。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

|                    | 報告セグメント   |             |         |            |           | その他<br>(注) 1 | 合計        | 調整額<br>(注) 2 | 中間連結<br>財務諸表<br>計上額<br>(注) 3 |
|--------------------|-----------|-------------|---------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------------|
|                    | バス事業      | 航空<br>代理店事業 | 駐車場事業   | 受託バス<br>事業 | 計         |              |           |              |                              |
| 売上高                |           |             |         |            |           |              |           |              |                              |
| 外部顧客への売上高          | 842,447   | 338,920     | 43,957  | 62,938     | 1,288,264 | 53,099       | 1,341,363 | -            | 1,341,363                    |
| セグメント間の内部売上高又は振替高  | -         | -           | -       | -          | -         | 11,902       | 11,902    | 11,902       | -                            |
| 計                  | 842,447   | 338,920     | 43,957  | 62,938     | 1,288,264 | 65,001       | 1,353,266 | 11,902       | 1,341,363                    |
| セグメント利益又は損失( )     | 281,730   | 96,448      | 24,983  | 12,241     | 148,056   | 13,726       | 134,329   | 78,599       | 212,929                      |
| セグメント資産            | 3,836,867 | 112,410     | 750,245 | 14,587     | 4,714,111 | 152,693      | 4,866,804 | 616,030      | 5,482,834                    |
| その他の項目             |           |             |         |            |           |              |           |              |                              |
| 減価償却費              | 147,059   | 16          | 10,780  | 268        | 158,124   | 1,294        | 159,418   | 470          | 159,889                      |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 178,703   | -           | -       | -          | 178,703   | -            | 178,703   | -            | 178,703                      |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売事業、旅行斡旋事業等を含んでいる。

2. 調整額は以下のとおりである。

(1) セグメント利益又は損失( )の調整額( 78,599千円)の主なものは、親会社本社の総務部門に係る費用である。

(2) セグメント資産の調整額( 616,030千円)の主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等である。

(3) 減価償却費の調整額( 470千円)の主なものは、親会社本社に係る減価償却費である。

3. セグメント利益又は損失( )は、中間連結財務諸表の営業損失( )と調整を行っている。

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：千円）

|                    | 報告セグメント   |             |         |            |           | その他<br>(注) 1 | 合計        | 調整額<br>(注) 2 | 中間連結<br>財務諸表<br>計上額<br>(注) 3 |
|--------------------|-----------|-------------|---------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------------|
|                    | バス事業      | 航空<br>代理店事業 | 駐車場事業   | 受託バス<br>事業 | 計         |              |           |              |                              |
| 売上高                |           |             |         |            |           |              |           |              |                              |
| 外部顧客への売上高          | 318,058   | 181,418     | 43,892  | 65,058     | 608,429   | 17,818       | 626,247   | -            | 626,247                      |
| セグメント間の内部売上高又は振替高  | -         | -           | -       | -          | -         | 2,101        | 2,101     | 2,101        | -                            |
| 計                  | 318,058   | 181,418     | 43,892  | 65,058     | 608,429   | 19,919       | 628,348   | 2,101        | 626,247                      |
| セグメント利益又は損失（ ）     | 609,307   | 40,182      | 26,271  | 18,254     | 604,964   | 22,298       | 627,262   | 84,330       | 711,593                      |
| セグメント資産            | 3,881,552 | 38,879      | 728,684 | 15,013     | 4,664,129 | 181,525      | 4,845,654 | 1,315,525    | 6,161,180                    |
| その他の項目             |           |             |         |            |           |              |           |              |                              |
| 減価償却費              | 155,557   | 24          | 10,780  | 268        | 166,630   | 1,199        | 167,830   | 2,534        | 170,364                      |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 256,869   | 100         | -       | -          | 256,969   | -            | 256,969   | -            | 256,969                      |

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売事業、旅行斡旋事業等を含んでいる。

２．調整額は以下のとおりである。

（１）セグメント利益又は損失（ ）の調整額（ 84,330千円）の主なものは、親会社本社の総務部門に係る費用である。

（２）セグメント資産の調整額（1,315,525千円）の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等である。

（３）減価償却費の調整額（2,534千円）の主なものは、親会社本社に係る減価償却費である。

３．セグメント利益又は損失（ ）は、中間連結財務諸表の営業損失（ ）と調整を行っている。

【関連情報】

前中間連結会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1．製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略している。

2．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が中間連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略している。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略している。

3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高     | 関連するセグメント名 |
|-----------|---------|------------|
| 全日本空輸株式会社 | 327,199 | 航空代理店事業    |

当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1．製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略している。

2．地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が中間連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略している。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略している。

3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高     | 関連するセグメント名 |
|-----------|---------|------------|
| 全日本空輸株式会社 | 180,317 | 航空代理店事業    |

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はない。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はない。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はない。

## ( 1株当たり情報 )

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

|                                                 | 前連結会計年度<br>( 2020年 3月31日 ) | 当中間連結会計期間<br>( 2020年 9月30日 ) |
|-------------------------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1株当たり純資産額                                       | 425.10円                    | 356.22円                      |
| ( 算定上の基礎 )                                      |                            |                              |
| 純資産の部の合計額 ( 千円 )                                | 2,891,323                  | 2,422,679                    |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 ( 千円 )                        | 582                        | 368                          |
| ( うち非支配株主持分 ) ( 千円 )                            | (582)                      | (368)                        |
| 普通株式に係る中間期末 ( 期末 ) の純資産額<br>( 千円 )              | 2,890,740                  | 2,422,310                    |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末<br>( 期末 ) の普通株式の数 ( 千株 ) | 6,800                      | 6,800                        |

1株当たり中間純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

|                                      | 前中間連結会計期間<br>( 自 2019年 4月 1日<br>至 2019年 9月30日 ) | 当中間連結会計期間<br>( 自 2020年 4月 1日<br>至 2020年 9月30日 ) |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 1株当たり中間純損失 ( )                       | 18.26円                                          | 65.43円                                          |
| ( 算定上の基礎 )                           |                                                 |                                                 |
| 親会社株主に帰属する中間純損失 ( ) ( 千円 )           | 124,220                                         | 444,959                                         |
| 普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )                  | -                                               | -                                               |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純損失<br>( ) ( 千円 ) | 124,220                                         | 444,959                                         |
| 普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )                  | 6,800                                           | 6,800                                           |

( 注 ) 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はない。

## ( 追加情報 )

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、当中間連結会計期間においても、その影響は続いている。

当社グループは、前連結会計年度の有価証券報告書の ( 追加情報 ) において、新型コロナウイルス感染症の影響が2020年中頃まで続くとの仮定を置いていたが、現状を鑑み、その影響が当連結会計年度末頃まで続くとの仮定に変更し、賃貸等不動産の評価、固定資産の減損、長期貸付金の貸倒引当金の計上、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っている。

この結果、賃貸不動産評価損、固定資産の減損損失及び長期貸付金の貸倒引当金の計上を行っていない。また、繰延税金資産の回収可能性判断を行っているが、この過程による取崩しはない。

## ( 2 ) 【その他】

該当事項はない。

## 2【中間財務諸表等】

## (1)【中間財務諸表】

## 【中間貸借対照表】

(単位：千円)

|               | 前事業年度<br>(2020年3月31日) | 当中間会計期間<br>(2020年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部          |                       |                         |
| 流動資産          |                       |                         |
| 現金及び預金        | 150,292               | 833,901                 |
| 売掛金           | 548,065               | 118,099                 |
| たな卸資産         | 15,097                | 12,873                  |
| その他           | 23,438                | 3 51,739                |
| 貸倒引当金         | 774                   | 474                     |
| 流動資産合計        | 736,119               | 1,016,137               |
| 固定資産          |                       |                         |
| 有形固定資産        |                       |                         |
| 建物（純額）        | 1 393,707             | 1 377,979               |
| 構築物（純額）       | 6,739                 | 6,418                   |
| 機械及び装置（純額）    | 24,830                | 23,258                  |
| 車両運搬具（純額）     | 2 232,145             | 2 318,557               |
| 工具、器具及び備品（純額） | 2 33,260              | 2 26,829                |
| 土地            | 1 2,866,468           | 1 2,866,468             |
| リース資産（純額）     | 221,862               | 246,589                 |
| 有形固定資産合計      | 3,779,013             | 3,866,100               |
| 無形固定資産        | 8,762                 | 8,299                   |
| 投資その他の資産      |                       |                         |
| 投資有価証券        | 1 167,479             | 1 159,394               |
| 関係会社株式        | 212,000               | 212,000                 |
| 長期貸付金         | 192,736               | 192,736                 |
| 出資金           | 4,848                 | 4,854                   |
| 長期前払費用        | 1,189                 | 4,573                   |
| 前払年金費用        | 168,585               | 164,630                 |
| 繰延税金資産        | 33,142                | 246,248                 |
| その他           | 115,549               | 116,470                 |
| 貸倒引当金         | 619                   | 649                     |
| 投資その他の資産合計    | 894,911               | 1,100,258               |
| 固定資産合計        | 4,682,687             | 4,974,658               |
| 資産合計          | 5,418,807             | 5,990,796               |

(単位：千円)

|               | 前事業年度<br>(2020年 3 月31日) | 当中間会計期間<br>(2020年 9 月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                           |
| 流動負債          |                         |                           |
| 支払手形          | 120,718                 | 87,231                    |
| 買掛金           | 37,325                  | 26,392                    |
| 短期借入金         | 1 155,681               | 1 16,703                  |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1 187,872               | 1 163,992                 |
| リース債務         | 100,787                 | 115,506                   |
| 未払金           | 218,041                 | 203,074                   |
| 未払費用          | 95,638                  | 84,612                    |
| 未払法人税等        | 69,016                  | 400                       |
| 預り金           | 52,266                  | 37,754                    |
| 前受収益          | 22,287                  | 238,543                   |
| 賞与引当金         | 89,065                  | 88,373                    |
| その他           | 25,821                  | -                         |
| 流動負債合計        | 1,174,520               | 1,062,585                 |
| 固定負債          |                         |                           |
| 社債            | 120,000                 | 320,000                   |
| 長期借入金         | 1 130,144               | 1 975,006                 |
| 長期末払金         | 249,692                 | 322,360                   |
| リース債務         | 138,823                 | 152,266                   |
| 再評価に係る繰延税金負債  | 529,236                 | 529,236                   |
| 退職給付引当金       | 150,515                 | 138,030                   |
| 役員退職慰労引当金     | 33,408                  | 34,926                    |
| その他           | 92,267                  | 87,243                    |
| 固定負債合計        | 1,444,087               | 2,559,069                 |
| 負債合計          | 2,618,608               | 3,621,654                 |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                           |
| 株主資本          |                         |                           |
| 資本金           | 100,000                 | 100,000                   |
| 利益剰余金         |                         |                           |
| 利益準備金         | 8,160                   | 10,200                    |
| その他利益剰余金      |                         |                           |
| 繰越利益剰余金       | 1,673,058               | 1,245,275                 |
| 利益剰余金合計       | 1,681,218               | 1,255,475                 |
| 株主資本合計        | 1,781,218               | 1,355,475                 |
| 評価・換算差額等      |                         |                           |
| その他有価証券評価差額金  | 3,902                   | 1,411                     |
| 土地再評価差額金      | 1,015,077               | 1,015,077                 |
| 評価・換算差額等合計    | 1,018,980               | 1,013,666                 |
| 純資産合計         | 2,800,198               | 2,369,141                 |
| 負債純資産合計       | 5,418,807               | 5,990,796                 |

## 【中間損益計算書】

(単位：千円)

|              | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|--------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高          | 1,713,308,535                            | 1,762,869                                |
| 売上原価         | 1,447,564                                | 1,222,520                                |
| 売上総損失( )     | 139,029                                  | 597,651                                  |
| 販売費及び一般管理費   | 78,599                                   | 84,330                                   |
| 営業損失( )      | 217,629                                  | 681,982                                  |
| 営業外収益        | 22,288                                   | 276,210                                  |
| 営業外費用        | 31,965                                   | 39,506                                   |
| 経常損失( )      | 197,305                                  | 615,277                                  |
| 特別利益         | 4289                                     | -                                        |
| 特別損失         | 50                                       | 50                                       |
| 税引前中間純損失( )  | 197,015                                  | 615,277                                  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 400                                      | 400                                      |
| 法人税等調整額      | 67,015                                   | 210,335                                  |
| 法人税等合計       | 66,615                                   | 209,935                                  |
| 中間純損失( )     | 130,400                                  | 405,342                                  |

## 【中間株主資本等変動計算書】

前中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：千円)

|                       | 株主資本    |       |           |           |           | 評価・換算差額等     |           |            | 純資産合計     |
|-----------------------|---------|-------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|
|                       | 資本金     | 利益剰余金 |           |           | 株主資本合計    | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金  | 評価・換算差額等合計 |           |
|                       |         | 利益準備金 | その他利益剰余金  | 利益剰余金合計   |           |              |           |            |           |
|                       |         |       | 繰越利益剰余金   |           |           |              |           |            |           |
| 当期首残高                 | 100,000 | 6,120 | 1,552,601 | 1,558,721 | 1,658,721 | 40,010       | 1,015,077 | 1,055,087  | 2,713,809 |
| 当中間期変動額               |         |       |           |           |           |              |           |            |           |
| 剰余金の配当                |         | 2,040 | 22,440    | 20,400    | 20,400    |              |           |            | 20,400    |
| 中間純損失（ ）              |         |       | 130,400   | 130,400   | 130,400   |              |           |            | 130,400   |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |         |       |           |           |           | 10,806       |           | 10,806     | 10,806    |
| 当中間期変動額合計             | -       | 2,040 | 152,840   | 150,800   | 150,800   | 10,806       | -         | 10,806     | 161,607   |
| 当中間期末残高               | 100,000 | 8,160 | 1,399,761 | 1,407,921 | 1,507,921 | 29,203       | 1,015,077 | 1,044,281  | 2,552,202 |

当中間会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

(単位：千円)

|                       | 株主資本    |        |           |           |           | 評価・換算差額等     |           |            | 純資産合計     |
|-----------------------|---------|--------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|
|                       | 資本金     | 利益剰余金  |           |           | 株主資本合計    | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金  | 評価・換算差額等合計 |           |
|                       |         | 利益準備金  | その他利益剰余金  | 利益剰余金合計   |           |              |           |            |           |
|                       |         |        | 繰越利益剰余金   |           |           |              |           |            |           |
| 当期首残高                 | 100,000 | 8,160  | 1,673,058 | 1,681,218 | 1,781,218 | 3,902        | 1,015,077 | 1,018,980  | 2,800,198 |
| 当中間期変動額               |         |        |           |           |           |              |           |            |           |
| 剰余金の配当                |         | 2,040  | 22,440    | 20,400    | 20,400    |              |           |            | 20,400    |
| 中間純損失（ ）              |         |        | 405,342   | 405,342   | 405,342   |              |           |            | 405,342   |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額） |         |        |           |           |           | 5,314        |           | 5,314      | 5,314     |
| 当中間期変動額合計             | -       | 2,040  | 427,782   | 425,742   | 425,742   | 5,314        | -         | 5,314      | 431,057   |
| 当中間期末残高               | 100,000 | 10,200 | 1,245,275 | 1,255,475 | 1,355,475 | 1,411        | 1,015,077 | 1,013,666  | 2,369,141 |

【注記事項】

(重要な会計方針)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) たな卸資産

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法。ただし、駐車場事業設備及び1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物 10～50年

構築物 10～45年

機械及び装置 13～17年

車両運搬具 2～5年

工具、器具及び備品 4～15年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法。なお、主な耐用年数については以下のとおりである。

ソフトウェア 5年

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し回収不能見込額を計上している。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当中間会計期間の負担額を計上している。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっている。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、発生年度に一括損益処理している。

数理計算上の差異については、発生年度の翌事業年度に一括損益処理している。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支払に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上している。

4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

(2) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付に係る未認識数理計算上の差異の会計処理の方法は、中間連結財務諸表におけるこれらの会計処理の方法と異なっている。

## (表示方法の変更)

## (中間貸借対照表)

前事業期間において「流動負債」の「その他」に含めていた「前受収益」は重要性が増したため、当中間会計期間より独立掲記することとした。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組み替えを行っている。

この結果、前事業年度の貸借対照表において「流動負債」の「その他」に表示していた48,108千円は、「前受収益」22,287千円、「その他」25,821千円として組み替えている。

## (中間貸借対照表関係)

## 1 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりである。

|        | 前事業年度<br>(2020年3月31日) | 当中間会計期間<br>(2020年9月30日) |
|--------|-----------------------|-------------------------|
| 建物     | 392,734千円             | 377,051千円               |
| 土地     | 2,829,904             | 2,663,447               |
| 投資有価証券 | 98,445                | 90,648                  |
| 計      | 3,321,084             | 3,131,147               |

なお、上記担保資産のうち、前事業年度は建物168,463千円、当中間会計期間は建物165,095千円を株式会社日ノ丸総本社の銀行借入金に対する物上保証に供している。

担保付債務は、次のとおりである。

|                   | 前事業年度<br>(2020年3月31日) | 当中間会計期間<br>(2020年9月30日) |
|-------------------|-----------------------|-------------------------|
| 短期借入金             | 155,681千円             | 16,703千円                |
| 長期借入金(1年以内返済額を含む) | 314,776               | 558,278                 |
| 計                 | 470,457               | 574,981                 |

## 2 国庫補助金等の受入により取得価額から直接控除している圧縮記帳額

|           | 前事業年度<br>(2020年3月31日) | 当中間会計期間<br>(2020年9月30日) |
|-----------|-----------------------|-------------------------|
| 車両運搬具     | 916,241千円             | 859,146千円               |
| 工具、器具及び備品 | 1,505                 | 1,505                   |

## 3 消費税等の取扱い

当中間会計期間において、仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動資産の「その他」に含めて表示している。

## (中間損益計算書関係)

## 1 売上高の中には運行費補助金等が含まれている。

|  | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|--|------------------------------------------|------------------------------------------|
|  | 14,784千円                                 | 19,000千円                                 |

## 2 営業外収益のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

|           | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|-----------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 受取利息      | 967千円                                    | 968千円                                    |
| 受取配当金     | 5,023                                    | 1,468                                    |
| 受取地代家賃    | 5,234                                    | 5,302                                    |
| 業務受託料     | 3,101                                    | 3,320                                    |
| 受取保険金     | 436                                      | 1,291                                    |
| 保険解約返戻金   | 2,828                                    | -                                        |
| 雇用調整助成金   | -                                        | 45,639                                   |
| 高速バス精算余剰金 | -                                        | 10,693                                   |

## 3 営業外費用のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

|       | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|-------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 支払利息  | 1,660千円                                  | 3,211千円                                  |
| 社債発行費 | -                                        | 4,817                                    |

## 4 特別利益のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

|         | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|---------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 固定資産売却益 | 289千円                                    | - 千円                                     |

## 5 特別損失のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。

|         | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|---------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 固定資産除却損 | 0千円                                      | 0千円                                      |

## 6 減価償却実施額は次のとおりである。

|        | 前中間会計期間<br>(自 2019年4月1日<br>至 2019年9月30日) | 当中間会計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年9月30日) |
|--------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 有形固定資産 | 159,506千円                                | 169,882千円                                |
| 無形固定資産 | 363                                      | 462                                      |

## 7 当社の売上高は、通常の営業形態によるものの他、売上に計上している運行費補助金等が下期において確定するため、事業年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違がある。

## (有価証券関係)

子会社株式及び関連会社株式(前事業年度の貸借対照表計上額及び当中間会計期間の中間貸借対照表計上額 子会社株式15,000千円、関連会社株式197,000千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載していない。

## (重要な後発事象)

該当事項はない。

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、当中間連結会計期間においても、その影響は続いている。

当社は、前会計年度の有価証券報告書の(追加情報)において、新型コロナウイルス感染症の影響が2020年中頃まで続くとの仮定を置いていたが、現状を鑑み、その影響が当会計年度末頃まで続くとの仮定に変更し、賃貸等不動産の評価、固定資産の減損、長期貸付金の貸倒引当金の計上、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っている。

この結果、賃貸不動産評価損、固定資産の減損損失及び長期貸付金の貸倒引当金の計上を行っていない。また、繰延税金資産の回収可能性判断を行っているが、この過程による取崩しはない。

## (2)【その他】

該当事項はない。

## 第6【提出会社の参考情報】

当中間会計期間の開始日から半期報告書提出日までの間に、次の書類を提出している。

|                 |                 |                               |                         |
|-----------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------|
| 有価証券報告書及びその添付書類 | 事業年度<br>(第130期) | (自 2019年4月1日<br>至 2020年3月31日) | 2020年6月26日<br>中国財務局長に提出 |
|-----------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------|

**第二部【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はない。

## 独立監査人の中間監査報告書

2020年12月25日

日ノ丸自動車株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員 公認会計士 柴田 芳宏 印  
業務執行社員

### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている日ノ丸自動車株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して、日ノ丸自動車株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間連結財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間連結財務諸表に対する経営者並びに監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 中間連結財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間連結財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間連結財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間連結財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
  - ・ 中間連結財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間連結財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
  - ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
  - ・ 経営者が継続企業を前提として中間連結財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
  - ・ 中間連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。
  - ・ 中間連結財務諸表に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、中間連結財務諸表の中間監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で中間監査意見に対して責任を負う。
- 監査人は、監査役に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(半期報告書提出会社)が別途保管している。
2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていない。

## 独立監査人の中間監査報告書

2020年12月25日

日ノ丸自動車株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員 公認会計士 柴田 芳宏 印  
業務執行社員

### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている日ノ丸自動車株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの第131期事業年度の中間会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、日ノ丸自動車株式会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間財務諸表に対する経営者並びに監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(半期報告書提出会社)が別途保管している。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていない。